

## 成績を高める『親』力

53世帯を対象にアンケート調査を実施した結果、子供の学力をつけさせようと工夫を凝らす親の様子や、中学受験に対する意識、良好な家庭環境が成績に与える影響の大きさが浮き彫りになった。

### 子供の学力UPのために工夫していること

- \* 塾の宿題は父母で一緒に（兵庫小5生男子の母）
- \* 朝6時に起きる息子の学習に付き合う
- \* テレビで見ている疑問に思ったことをすぐに調べられるように、辞書や時点を居間においている  
（東京小5生女子の母）
- \* 世界の歴史や日本の歴史・恐竜・図鑑など、子供にも読める本を与えている（兵庫小5生男子の母）
- \* 一緒に新聞を読んだり、テレビを見てわからないところがあれば、解説したり、同感したかを話す  
（東京小5生男子の母）
- \* 動物園や旅行に連れて行って珍しい生き物やカメの産卵の様子をみせてやった（大阪小4生の母）
- \* 学力の向上には生活態度も重要なので挨拶など基本が出来ていない時は注意する（埼玉小5生の父）
- \* 責任を持たせる手伝いを継続的にさせている（東京小5生の母）

### 家庭用のゲーム機について

- \* 遊べるのは一日1時間ときめ、後はトランプなどをさせている。（東京小6生の母）
- \* もともと買い与えていない。（東京小4生女子の父）

### 中学受験について

父母全員に尋ねたところ、『させる』『たぶんさせる』の合計が53.0パーセント、『させない』『たぶんさせない』の合計が47.0パーセントであった。

#### 《受験させる理由》

- ・公立の学力レベルが低い（埼玉小5生女子の父）の意見が圧倒的に多く、  
『3年後との受験は無駄』（東京小4生女子の父）と中高一貫教育を望む意見が目立った。

### 親の接し方と成績の関係

親が『良く褒める』と答えた子供の成績の方が、上位に位置し『よく叱る』と答えた親の子供の方が下位グループに位置しやすい傾向にあり、また親子関係が良く、コミュニケーションが取れている家庭の方が子供の生活に安定をもたらし、さらに自発的な学習を促している傾向にある。